

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
総社市	槇谷	令和4年3月8日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	86.711 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	43.637 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	22.596 ha
i うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	1.318 ha
ii うち後継者について未定の農業者の耕作面積の合計	1.028 ha
iii うち後継者について確認していない農業者の耕作面積の合計	20.250 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	6.248 ha
(備考)	

注:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

2 対象地区の課題

イノシシ、ヌートリアの被害がある。
山際に耕作放棄地がある。法面の草刈が大変。
耕作者が高齢化しており、後継者不足。営農組合についても、中心となっている人の次の世代の担い手が不足している。パイプラインの老朽化が進んでいる。畑野の水路の升に土砂がたまりやすいため、改善が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地は、中心経営体のなかでも、特に営農組合へ集約を図る。